



こどもたちの戦争

添乗員同行/最少催行人員15名

7/12 (土)・10/11 (土)

E.北部の戦争とこどもたち

護郷隊と第三中学・なごらん学徒隊を中心に

日程 △車窓 ○下車観光 ◎入場観光 ☆体験

各地バス停(県庁北口8:00/てだこ浦西8:30)

※利用バスはマイクロバスとなります。

○田井等収容所跡

戦争・戦後当時の収容地の跡地を巡ります。

○沖縄愛楽園交流会館

ハンセン病の収容所について戦前・戦中・戦後の状況を学びます。

🍱🍱 途中、昼食へご案内 🍱🍱

○三中学徒之碑と野戦病院跡

八重岳にある病院跡地や碑を訪れます。

○南燈慰霊之塔

名護高校裏門にある第三中学・第三高等女学校の戦没者を合祀した慰霊塔を訪れます。

○少年護郷隊之碑

～名護小学校敷地内にある第一護郷隊の碑

○多野岳

～護郷隊が陣地を構築した山から当時の様子を学びます。

～途中トイレ休憩を取りながら、帰路へ

※てだこ浦西17:30 県庁北口18:20を予定しています。

護郷隊とは

護郷隊とは遊撃隊の秘匿名(通称)で日本軍最高統帥機関、大本営直属のゲリラ部隊です。その役割は正規軍が崩壊したあとも現地にとどまり、敵の後方を攪乱し、情報を収集する残置諜報部隊でした。

太平洋戦争の戦局が悪化し、本土決戦が目前に迫る中、大本営は戦争準備期間をできるだけ確保するため、時間稼ぎをするよう、持久戦を第32軍に課します。第32軍は本体を首里南部に拠点を置きました。一方、北部の持久戦の任務を担う役割として編成したのが、護郷隊です。1944年9月から1945年の3月までに約1000人の部隊となり、その多くは15歳～18歳の少年たちでした。戦後80年たつてなお、あまり知られていない護郷隊についてご案内いたします。



写真RG, Series Item: 127-GW-669-126981は少年兵のイメージです。

旅行
代金

大人 ¥16,000 小人 ¥14,000

沖縄愛楽園交流会館

沖縄愛楽園交流会館は、沖縄愛楽園自治会が中心となりつくりあげてきた資料館です。2015(平成27)年6月に開館しました。(中略)沖縄の療養所の特徴である、沖縄戦や米軍統治下の展示をはじめ、療養所に生きてきた人々の姿や多くの証言が展示されています。常設展示のほか、不定期に企画展を開催し、付帯イベントも行っています。

沖縄愛楽園交流会館・パンフレットより抜粋

南燈慰霊之塔

北部では沖縄県立第三中学校と沖縄県立第三高等女学校が学徒隊員として従軍しました。三中生は防衛隊員・鉄血勤皇隊員及び通信隊員として動員され、真部山・八重岳・名護岳・多野岳等で戦ったものの米軍の圧倒的な物量の前に壮烈な最期を遂げています。また三高女生も軍需産業への女子挺身隊員・従軍看護婦として動員されて若い命を散らしました。南燈慰霊の塔は、戦死した学徒たちを合祀し、「恒久平和の誓い」として2001年に建立されました。

※お申込みの際は、Aコース下部にある【ご旅行条件書(抜粋)全コース共通]をご確認ください。